

オール梶原の隊列を一層整えよう！

2024年は体制を整える大事な一年！
笹岡 高志 | p.02

JOIN移住フェア参加

東京ビッグサイトの地域おこし協力隊の募集活動へ！JOIN移住・交流フェアに参加！
長谷川 夏輝 | p.03

安井建築の山師たち

ReMORI会員事業体紹介の第一弾！
林業参入から10年！安井建築をインタビュー！
笹岡 高志 | p.04

01 地域おこし協力隊 EPISODE



太郎川公園での間伐研修もひと段落

地域おこし協力隊では、月に一度、みどりの恵の森本 正延さんをお招きして、太郎川公園をフィールドとした間伐をご指導いただいています。
間伐の為の装置や伐倒方法のコツを学ぶことはもちろん、ラジコンウインチ搭載の林内作業車による集材方法など、幅広く学んでいます。
ようやくひと区画の区切りがつきそうです。湿生園の水源にもなる場所ですので、引き続き進めていければと思います。

02 YouTube

ゆすはら 地域おこし協力隊

梶原町森林再生プロジェクト
「りもりチャンネル」

りもりの活動やイベント風景、協力隊のPR動画などを配信中！



森林と共に育つ

KIRecub-きりかぶ-チャンネル

新たに立ち上げました！活動風景やイベントの様子などを配信予定！



03 Instagram

ゆすはら地域おこし協力隊
りもりメンバーが林業を通して梶原町の魅力を発信中！



下村智也



山口佑貴



長谷川夏輝



荒木俊充



吉井香在



Coming Soon

KIRecub-きりかぶ-

造林事業をメインに立ち上げた組織「KIRecub (きりかぶ) 有限責任事業組合」です。林業がもっと面白く活気のある産業になるように様々な事業も展開していきます。



ゆすはら森のおさんぽ会

梶原の豊かな自然を活かした、自主保育型「森のようちえん」活動。協力隊の荒木俊充が妻とともに、4歳と1歳の子どもたちを連れ、町内各地で活動中。参加者随時募集！0歳からどなたでも参加していただけます。一緒に自然を満喫しませんか？



WOODNEIGHBORS-ウッドネイバーズ-

協力隊を卒業した角金玄が個人事業主として開業。ロープクライミングで樹上へアクセスし住宅や公共施設、神社仏閣などの樹木の伐採(剪定)を事業としています。



Coming Soon



オール栲原の隊列を一層整えよう！

今年も暖冬で、かつ雪が少ない。また、雨も少なく、春の田んぼの水を心配する声が聞こえます。また、元日の能登半島地震は想像を超した被害の広がり、連日の報道に胸が詰まります。一日も早い復旧を願い、可能な支援を致しましょう。加えて、南海震災への備えを進めましょう。

1月4日の高知新聞に嬉しい記事が掲載されました。テーマは「再造林」でした。栲原の施業形態も皆伐が大半になり、伐採後の再造林の遅れが目立っていました。そこに思わぬサポートの手が上がりました。矢崎総業の関連会社・四国部品の中堅社員二人の地帯、植付は2回目の冬を体験中です。また、協力隊が立ち上げた「KIRecub」は植えるだけでなく、育苗プロジェクトを始動させました。そうした活動が新聞に詳しく紹介されていました。町外で林業関係者に会えば、「栲原はやっぱり頑張っちゃうねえ」と声をかけられています。



写真

冬の現場は厳しい！

さて、今年は木質バイオマス発電事業が計画されていると聞きますので、栲原町の林業振興に必要な体制を整える大事な一年になります。

ReMORIは先月15日の役員会で、今年の取り組み・目標を確認しました。

1、角金さんに続いて、9月末に下村隊員が任期満了を迎えます。卒業後は「KIRecub」のリーダーとして、一層の活躍が期待されます。現在の有限責任事業組合をどのように発展・支援するか、検討します。

2、令和5年度の入隊は栃木県からの吉井さん一人でした。隊員が途切れることのないよう、来年度は複数名を迎えられるよう取り組みます。

3、（会長から役員の方々にお願いしました）
月1回のペースで開く役員会で、栲原林業の個別課題（増産・枝葉の処理・安全対策・製材の将来・販売先対策など）を、協力隊員の育成と合わせて協議することにしました。関係者をお呼びして話し合いに加わって欲しいと考えています。

日差しが春めいてきました。もうすぐ梅、桜が花を咲かせましょう。

本年も協議会の活動を見守って頂き、引き続きご支援ご鞭撻のほど、何卒よろしく願い申し上げます。

今回のREPORTER・リポーター。



栲原令和の森林づくり協議会「ReMORI」会長
笹岡 高志 -Takashi Sasaoka-

高知市生まれの73歳。高知放送を退職後、週2回のペースで、栲原町を往復。8年が経過。栲原町産業担い手育成塾長（森林づくり）を経て、栲原令和の森林づくり協議会長。子ども3人、孫6人。拙宅は時々、孫たちで大賑わい。本日は静かです。

JOIN移住・交流フェアに参加！

地域おこし協力隊2年目の長谷川夏輝です。2024年1月13日～14日に開催された「JOIN移住・交流フェア&地域おこしフェア2024」にReMORIの地域おこし協力隊全員で参加してきましたので、レポートいたします！

毎年開催のこのイベントですが、去年のフェアでは、同年9月に協力隊に着任した吉井さんが、相談に来てくださりました。今年は、より多くの協力隊を集めるべく、去年よりさらにパワーアップした勧誘をすると、息込んで行きました。

梶原町のブースとは別に、協力隊専用のブースを設けていただき、皆さんにご案内させていただきました。協力隊の制度説明から、林業や移住の良さ、大変さなど、自身が移住者だからこそ話せることや、知りたかった情報なども踏まえてお伝えしました。林業現場以外にも、荒木さんの「森のおさんぽ会」の活動や、KIRecubの苗木園やヒノキ精油、レーザーカッター木工など幅広くアピールし、多方面の方々に興味いただけたかと思えます。

また、協力隊のInstagramから興味を持って、お越しいただいた方もいたと聞き、SNSの発信の重要性を改めて感じました。

皆さんの興味や熱意はさまざまで「なんとなくそのうち・・・」、「半年以内に移住したい!」、「ゆすはらってどこ?」など、その方に合わせた情報の量、提供の仕方が重要でした。最初は興味が薄かった方が、次第に梶原の活動を魅力に感じ、「移住はまだ早いけど、遊びに行ってみようかな」なんて言っていただけた時は、とても嬉しかったですね。

私自身、移住を決心したのは、梶原に赴いた時でした。ReMORIのメンバーに町内や林業現場を案内いただき、夜に食事やお酒を交わして、実際に住んでいる方々の生き生きとした姿や、仲間たちとの掛け合いを間近に見れたからです。その光景がとても素敵に映りました。

まずは、梶原に遊びに来ていただき、私のように魅力に引き込まれて、そのまま移住を決めてくださる方が増えてくれたら嬉しいな～とひそかに思っています。笑

現在、協力隊は3年目が1人、2年目が3人、1年目が1人という状況！急がねば!!!!



朝の作戦会議タイム



ゆすはら地域おこし協力隊ブース!!



ヒノキアロマの試供品とレーザーカッター木工品を配りました！



たくさんの方にお越しいただきました！

今回のREPORTER-リポーター-



ゆすはら地域おこし協力隊
長谷川 夏輝 -Natsuki Hasegawa-

神奈川県出身の地域おこし協力隊。今年で2年目に突入。林業研修の他に、森林イベントの運営や木工などにも力を入れ始めました。協力隊同士で立ち上げた組織「KIRecub-きりかぶ-」では、休みの日を活用して造林の仕事を請け負っています！

会員事業体紹介 その①

10年の節目を越した！安井建築の山師たち！



作業路上を走行するフォワーダ



油圧集材機による架線集材



グラブによる伐出作業

今月からリモリ会員の現況をお伝えしてゆきます。トップバッターは林業参入から10年・安井建築の安井謙二社長（65）にお話を伺いました。

大工の棟梁から山師の親方へ、県内でも稀な転進でした。数年前の酒席で「何故、大胆な決断を？」と尋ねたことを思い出します。安井社長は苦笑いしつつ「（お施主さんに）頭を下げ続けるのがシンドウになったがよ」。そうか、と頷きました。全国的な住宅着工数減、中山間での営業活動は一層厳しいはずですが。

原稿作成のため、改めて安井社長にインタビューしました。答えが違っていました。建築業を続けるには、山（スギ・ヒノキ林）を構え、自ら伐り出して製材し、使いたい。一番効率がいい。サプライチェーンの自己完結は、当初から思い描いた戦略だったようです。家を建てつつ、林業機械も揃える。準備した上での決断だったことを知りました。

社長以下8人の従業員を大工職と山師の二手に分けました。社長は先頭に立って山の現場へ。雨が降れば、刻屋で製材を手伝い、逆に山仕事に手が足らぬ時は大工職が山に入る。「みんな文句を言わずやってくれました」。

みな初心者です。当初は架線の張り方にも難儀しました。また、10年前は材価が底値（スギは9千円台/m³：今は1万1千円台）の時期でした。苦しんだ日々を約3年で突破し、一定の利益がはじめてからは投資を惜しみませんでした。年に一度各県持ち回りで開かれる林業機械展に、当初は一人で、最近は山師を連れて出陣してきました。最新機材の動向を確かめつつ中古を買う。安井流儀のようです。

最後に会社の将来像を尋ねると、即座に「15年後かね。当面は若い者を二人増やし2班（8人）に分けて仕事すること」。「15年後は80歳ですね」と突っ込むと、とぼけたお顔で「まこと80（歳）になるね。それまでは頑張る、頑張れると思う」。いい笑顔が返ってきました。転進から10年、足場を固めた山師たちの次の10年が楽しみです。

今回のREPORTER・リポーター。



梶原令和の森林づくり協議会「ReMORI」会長
笹岡 高志 -Takashi Sasaoka-

高知市生まれの73歳。高知放送を退職後、週2回のペースで、梶原町を往復。8年が経過。梶原町産業担い手育成塾長（森林づくり）を経て、梶原令和の森林づくり協議会長。子ども3人、孫6人。拙宅は時々、孫たちで大賑わい。本日は静かです。